

七条中学校だより5月10号

京都市立七条中学校

令和8年5月26日

発行：校長 林 秀雄

継続は力なり

「継続は力なり」という言葉を聞いたことがありますね。確か技術室に掲示されていたと思います。これは、「毎日の小さな努力を続けることが、やがて大きな力になる」という意味です。学習や部活動、行事への取組、人との関わりなど、学校生活のあらゆる場面に当てはまる大切な言葉です。その土台になるのは、毎日の学習、毎回の練習、日々の生活を続けることにあります。今、生徒のみなさんができる「継続」は、難しいことではありません。「・授業を最後まで集中して受ける・毎日家庭学習を行う・練習を反復する・昨日の自分より一歩前へ進もうとする」等です。

本校の学校教育目標は、「自律・探究・貢献」です。これらは「七条のプロセス（裏面参照）」にあるように、なりたい自分を思い描き、自分で目標を立て、行動し、振り返り、次につなげていくこと、更にはその挑戦と振り返りを何度も重ねることです。しかし、目標は立てただけでは実現しません。毎日の学習や練習をこつこつと積み重ねること、つまりこうした小さな行動の積み重ねの「継続」があってこそ、自分を成長させる力になります。

私自身のこれまでの経験からも言えることがあります。今日学習したこと、今日練習したことが、すぐに「分かる」「できる」ようになることはほとんどありません。ところが、地道にコツコツと学習や練習を継続していると、（個人差はありますが）数か月後、ふとした瞬間に「分かる」「できる」と感じるようになります。力は、静かに、しかし確実に身につけていくのです。これは感覚だけの話ではありません。科学的にも、人の脳は繰り返しと時間をかけた学習によって成長することが分かっています。学んだことはすぐに定着するのではなく、睡眠や日々の復習を通して脳に整理され、何度も使うことで神経のつながりが強くなります。また、学習や運動を間隔をあけて続ける方が、長く身につくことも知られています。つまり、「一度で完璧に」よりも、「続けること」こそが、成果への近道なのです。成果が見えない時期は、不安になることもあるでしょう。しかし、その時期にやめずに続けた人が、後から大きな成長を実感できます。大切なのは、昨日より少し前へ進もうとする気持ちと、やめない強さです。七条中学校での一日一日を大切に、目標に向かって歩み続けていきましょう。努力を続ける皆さん一人ひとりを、応援しています。

モノの“物語”をさかのぼる力 ウナギの完全養殖と職場体験から見える社会

私はウナ重が大好きです。しかし近年、ウナギの漁獲量が激減し、価格が高騰していました。「このままでは、いつか気軽に食べられなくなるのではないか」そんな不安を抱えていたところに、ウナギの産卵から出荷までの完全養殖が実用化されるという朗報（ろうほう）が飛び込んできました。ただ「よかった！」で終わらせるのではなく、このニュースを深く見つめてみると、実はみなさんの学びにもつながる大切な視点が隠れています。

ウナギの完全養殖が教えてくれる“見えない努力”
ウナギは長い間、「どこで産卵するのか」「どう育てればいいのか」すら分からない“謎の生き物”でした。完全養殖の成功は、ひとつの研究で突然生まれたわけではありません。・産卵場所を探し続けた研究者・卵をふ化させる条件を調べた科学者・仔魚の餌を開発した専門家・水槽の形や水流を工夫した技術者・親ウナギを成熟させる方法を研究した人々等、こうした数十年にわたる挑戦と失敗の積み重ねが、ようやく「完全養殖」という成果につながりました。ウナ重一杯の裏側に、これほど多くの人の努力と技術がある。そう考えると、普段の見え方が変わってきます。

職場体験で見た“仕事のつながり”
2年生のみなさんが経験した職場体験も、実はウナギの完全養殖と同じ構造を持っています。たとえば、コンビニに並ぶ一本のオレンジジュース。・果物を育てる農家・収穫し選別する人・運ぶ物流の人・工場加工する技術者・パッケージを作るデザイナー・店で販売するスタッフ等、みなさんが見た仕事は、この長い物語のどこかの一部分です。どの仕事も、社会の中で欠かせない役割を担っています。

ウナギもジュースも、そして社会も“つながり”でできている
ウナギの完全養殖も、職場体験で見た仕事も、そしてみなさんが手にするモノも、すべては多くの人の仕事と技術のつながりの上に成り立っています。ここで、みなさんにぜひ考えてほしいことがあります。・普段何気なく使っているモノは、どんな道のりをたどってきたのか・どんな技術が使われているのか・どんな人の思いや願いが込められているのか・どんな“見えない仕事”が支えているのか。こうした視点でモノを見つめると、社会の見え方が変わり、「ありがたい」という気持ちや、「自分も誰かを支える存在になりたい」という思いが生まれてきます。

七条中のみなさんへ — “知ること”から始めよう
ウナギの完全養殖のニュースも、みなさんの職場体験も、実は同じメッセージを伝えています。“ひとつの成果の裏には、多くの人の努力と物語がある”だからこそ、私からみなさんに提案します。まずは“知ること”から始めてみませんか。身の回りのモノを一つ選び、「これはどこから来たのか」「どんな人が関わっているのか」そんな問いを自分なりにたどってみてください。その小さな一歩が、仕事や社会の見方を深め、みなさん自身の未来の選び方も、きっと変えていきます。

私はウナ重をお腹いっぱい食べられる日が今から待ち遠しいです。

